

ラグビーワールドカップ2019™推進事業

—No.3 熊谷市—

【事業の目的】

ラグビーワールドカップ2019開催に向け、大会組織委員会のもと、埼玉県と連携・協力して開催準備を進めるとともに、ラグビーを通じた魅力あるまちづくりを推進することを目的としています。

【事業の内容】

機運醸成のための啓発事業及び1年前イベント、新ラグビー場のこけら落としをはじめとするトップレベルの試合を誘致します。

また、継続事業となるアクセス道路網の改良のほか、愛称「ラグビーロード」（熊谷ラグビー場から熊谷駅までの区間）の整備、熊谷駅正面口駅前広場の改修、熊谷駅周辺の公共サイン(周辺案内、誘導)の設置、来訪する観光客向けガイドの育成等おもてなし環境整備、小中学校給食におけるラグビー関連メニューの提供等を行います。

【事業年度】

平成30年度

【予算額(千円)】

事業総額	3,663,437千円	(平成28年度～)
(継続事業)	3,053,119千円	
うち平成30年度分	580,318千円	

【財源】

交付金(社会資本整備総合交付金)	735,878千円
地方債(事業債)	1,113,200千円
その他一般財源	1,784,359千円
計	3,663,437千円

【事業実施に至った背景・経緯】

熊谷市はラグビーが盛んな土地柄で、平成3年に整備された県営熊谷ラグビー場では、全国高校選抜大会、トップリーグ、日本選手権などが開催され、ラグビーが市民の身近にある「ラグビータウン」です。平成27年3月にはラグビーワールドカップ2019の開催都市の一つに決定しました。

【事業のPRポイント】

熊谷市に訪れる世界中のラグビーファンの方が快適に過ごしてもらえるように、玄関口となる熊谷駅周辺の環境整備のほか、民間レベルで展開される観光ボランティア育成や観光客とガイドのマッチング事業や街の魅力発信のためのワークショップ等を積極的に支援し、「おもてなし」の環境を整えています。

さらに県等の関係機関、そして市民、事業者がスクラムを組み、一丸となってハード事業・ソフト事業を進めており、大会成功とその後の街づくりに向かって、それぞれが重なり合い助け合いながら連携していきます。

【事業実績・成果・今後の展開】

これまで、ラグビー教室の開催やウェブサイト「熊谷ラグビー応援団」の開設、ラグビーワールドカップ2019のロゴを使用した原動機付自転車オリジナルナンバープレートの作成・交付等、PRに取り組んできました。今後も大会成功に向けた準備とラグビーを通じた魅力あるまちづくりを積極的に推進していきます。

【参考資料】



〔 連絡先 〕

企画課 企画調整担当

048(524)1115